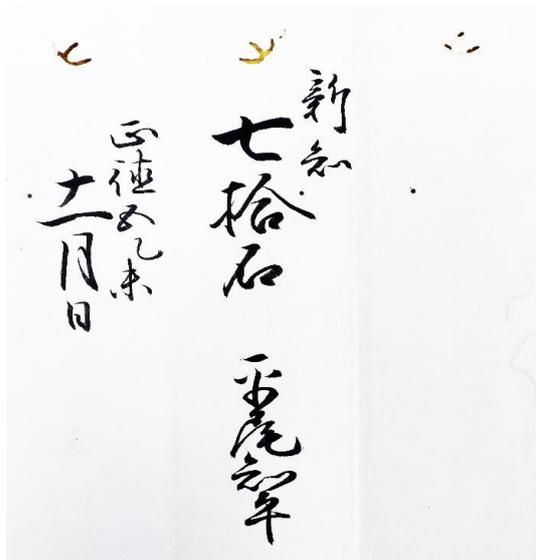


平成30年度新収蔵史料展

加賀本多家家臣展



「知行目録(新知70石)」(43.13-1)



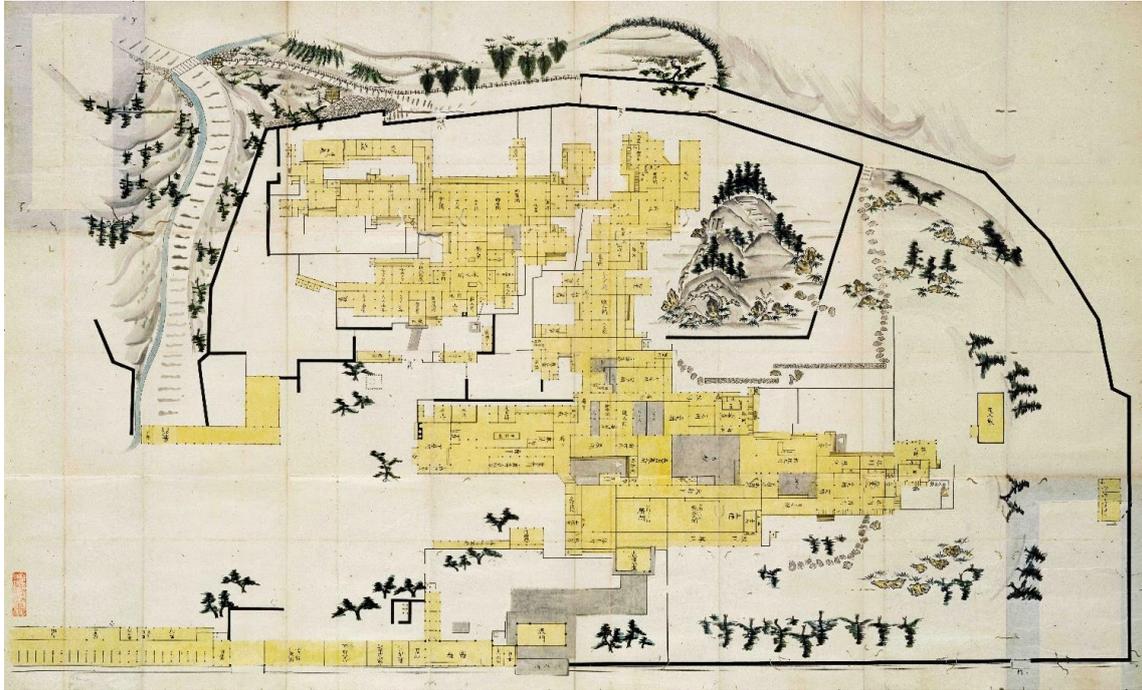
「金府大絵図」(大1005)



「知行宛行状(長井郡中小松之内200石)」(39.33-1)

平成30年12月18日(火)
～平成31年1月27日(日)

金沢市立玉川図書館 近世史料館



加賀藩家臣団において最大の禄高を有した本多家は、格別の家柄として他家とは異なる待遇を受けており、藩政に深く関与しました。歴代当主は叙爵して従五位下諸大夫となり、安房守や播磨守などを称しています。

幕末維新时期に当主であった政均は、当時の藩政における中心人物でしたが、明治2年(1869)8月に金沢城二ノ丸御殿において山辺沖太郎・井口義平により暗殺されました。その後、本多家の家臣らは実行犯の身柄引き渡しを要求しますが、それが叶わなかったことから、同4年11月に本多弥一ら本多家の家臣によって敵討ちが決行されています。また、同2年11月に藩政改革の一環として藩主前田家が金沢城を出た際には、本多家の上屋敷を私邸として政府に届け出て御住居としており、その後本多家は下屋敷に移っています。

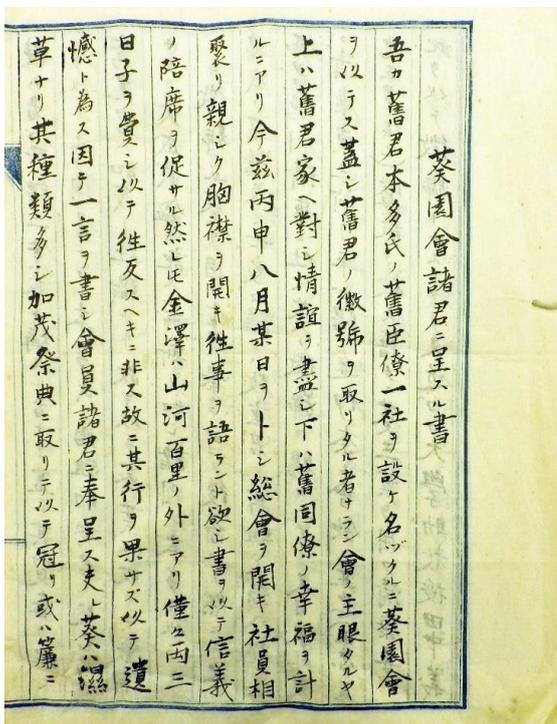
2 平尾家

廿三	廿一	九	元治	五
廿四	廿二	十	二	六
廿五	廿三	十一	安政	二
廿六	廿四	十二	三	二
廿七	廿五	十三	明治改年	三
		十四	明治二	四
		十五	三	五

平尾家年譜早見表(43.11-12) 部分

平尾家は数代にわたり加賀八家の本多家に仕えた家であり、本多家中では近習頭や公用方書写役などを勤めた家柄です。平尾文庫は史料総数が511件685点、内容は多岐に渡りますが、平尾家および学芸に関する史料が主となります。

史料群は4つの大項目、29の小項目と参考品に分類しています。時代的には大項目の「I 家」、「II 親類 石坂家」の項は近世史料が多く、「III 葵園会」「IV 学芸」については近代の史料が中心となりますが、明確に区分できない史料も多く、本文庫は時代区分による項目分けはしていません。史料としては、寛延2年(1749)平尾家の由緒帳下帳が古い年代のものと推察されます(43.11-1)。由緒帳には、古くは人持組永原左京家に仕えていたことが記されていますが、その時期の他の史料は見当たりません。

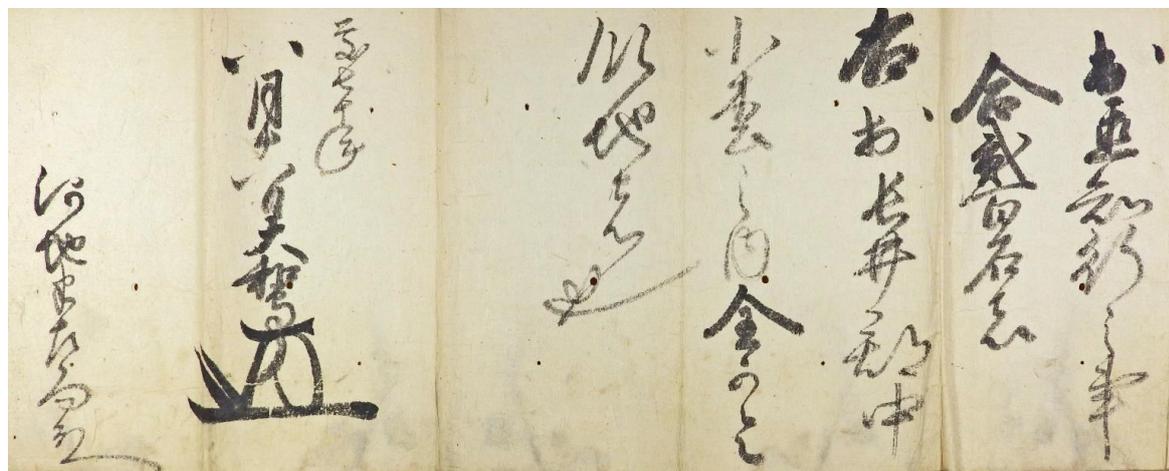


葵園會に呈する書(43.34-2)

由緒帳によれば、森部与助知之を初代とし、3代の知忠が宝永7年(1710)に本多家3代当主政敏に召し出されたことで本多家に仕え、平尾姓を名乗ったことがわかります。そして、平尾家は明治3年(1870)7月に士族となり、藩の士族方管轄となるはずでしたが、「先祖由緒并一類附帳」(当館所蔵加越能文庫「平尾紋三」)に「本多資松当分管轄」とあることから、前年の大凶作の影響により由緒帳の提出段階では、いまだ本多家の管轄であったことがわかります。なお、平尾家の宗旨は一向宗、菩提寺は嫁坂下唯念寺で、定紋は丸ノ内桜、居宅は本多資松元家中風呂屋丁でした。

また、平尾文庫には葵園会に関する史料があります。葵園会は本多家の旧家臣によって設立された有志の会と考えられ、明治初年の当主本多政均暗殺において敵討ちを執行した十二義士の追悼法会を執行していたことが史料からうかがえます。

3 河地家



知行宛行状(長井郡中小松之内二〇〇石) 39.33-1

河地家は、加賀八家の本多家に代々仕えた家であり、本多家中において家老や頭役などを勤めた家柄であり、明治初年の「先祖由緒并一類附帳」(当館所蔵加越能文庫)には禄高は200石とあります。河地文庫は史料総数が703件785点、さまざまな内容ですが、家政に関する史料が主となります。史料は5つの大項目、23の小項目に分類し、時代的には、大項目の「I 支配」、「II 主家・親類」の項は藩政期が中心であり、「III 河地家」「IV 学芸」については明治期が中心となりますが、明確に区分できない史料も多く、平尾文庫同様、本文庫では時代区分による項目分けはしていません。

史料には、越中を支配していた佐々成政の判物(「佐々成政判物(越前人数の件につき)」39・11-1)や、慶長期の知行宛行状(「知行宛行状」39・33-1)など、近世初期のものもみられ、河地家の由緒を感じさせます。

また、河地家も明治3年(1870)に士族となり、藩の士族方管轄となるはずでしたが、平尾家と同様に前年の大凶作による影響で由緒帳の提出段階では本多家管轄とされています。なお、河地家の宗旨は日蓮宗、菩提寺は泉野寺町妙法寺で、定紋は丸ノ内三ツ檜葉、居宅は本多家家中馬場丁です。

新収蔵展 展示史料一覽

	標題	年月日	形態	点数	分類番号
加賀本多家					
1	本多家上屋敷図	年未詳	一枚 彩色	1	090-500
2	本多政以系図	明治31年	袋綴	1	16.31-174
3	本多家譜抄録	明治3年	袋綴	1	16.31-178
4	本多家古文書等	明治年間写	袋綴	1	16.34-58
5	当国陪臣分限帳	寛文10年	袋綴	1	16.36-31
6	諸大名家臣禄高番附	年未詳	一紙	1	16.83-63
7	知行目録(父遺知百石之内五拾石分知)	慶応3年11月4日	切紙	1	090-1040-34
8	山口源太郎知行五拾石所附之事	慶応3年11月4日	豎紙	1	090-1040-35
9	知行目録(父遺知之内残知六十石引合)	宝暦10庚申正月26日	切紙	1	39.22-16
10	知行所附之事(一二〇石)	宝暦10庚申年正月26日	豎紙	1	39.22-17
平尾家					
11	平尾家年譜早見表	(明治)	続紙	1	43.11-12
12	知行目録(新知70石)	正徳5乙未11月日	切紙	1	43.13-1
13	知行目録(養父遺知之内50石)	宝暦13癸未12月21日	切紙	1	43.13-5
14	知行目録(父遺知50石)	寛政10戊午7月朔日	切紙	1	43.13-7
15	知行目録(養父知行70石)	天保6乙未12月26日	切紙	1	43.13-11
16	拝領目録(銀7枚)	安政3丙辰12月29日	切紙	1	43.13-13
17	戸水当選および人材養成の件など書簡	(明治41年)5月26日	切続紙	1	43.16-11
18	戸水博士の世界併呑説につき書簡	(明治41年)5月28日	切続紙	1	43.16-12
19	本多政以より御菓子料送付につき書簡	(明治17年)9月3日	切続紙	1	43.32-1-1
20	御菓子料袋(水引付)	(明治17年)	包紙	1	43.32-1-2
21	葵園会諸君に呈する書	明治29年7月	罫紙綴(2丁)	1	43.34-2
22	奥村栄滋返書	(明治37年)8月31日	切続紙	1	43.35-4-23
23	金沢町絵図(明治初年)	明治初年	一枚 彩色	1	大1023
河地家					
24	佐々成政判物(越前人数の件につき)	10月26日	折紙	1	39.11-1
25	本多政均暗殺につき怨敵下賜嘆願書	(明治2年)9月26日	切続紙	1	39.21-5
26	先君敵討之義につき書状等	(明治4年)11月	長帳(5丁)	1	39.21-6
27	系図帳	嘉永元年10月晦日	横帳(12丁)	1	39.31-1
28	知行宛行状(長井郡中小松之内200石)	慶長10年8月18日	折紙	1	39.33-1